

チーム九谷展V

ーいのちの輝きー

令和2年10月12日(月)～18日(日)

柿がやうい

KAKI DEN GALLERY

「チーム九谷展 Vーいのちの輝きー」に寄せて

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がる中、東京では3密（密閉・密集・密接）を避ける暮らしが続いています。このウイルスは人間を分析し、孤立化します。しかし、われわれは連帯と協調によって、この難局を乗り越えなければなりません。コロナの感染が終息した後、日本人の自然観を根底としたアートや工芸が世界中で注目されるだろうと、私は思っています。そこで、今回のテーマを「いのちの輝き」としました。日本人の自然観を持って表現された造形が割り出す空気感や、色彩が発するエネルギーを感じることで、共に元氣になればと願っております。

齋藤まゆさんの「天空」は、作家として独立した最初の作品です。柔らかな中間色で描かれた繊細な線描と、生命感の漂うオーガニックなフォルムに、天空の夢を描きました。

佐藤 亮氏の「色絵六稜花器『霜月夜』」は、陰暦十一月の季語「霜月夜」をイメージした作品で、幾本もの細い線は月光の粒子を表現したものです。橋本多佳子さんの「霜月夜 細く細くせし 戸の隙間」という句を思い出します。

田島正仁氏は常に挑戦的です。「彩釉花器」は、サブタイトルの「いのちの輝き」を表現して、濃い紫の中に黄、緑、青など何色も重ねて不思議な輝きを放っています。

田畑奈央人氏の「ヤモリの徳利」は、家を守り幸運を運んでくるといわれるヤモリが器体に張り付いています。その模様は、能登呂須で陰影をつけ、九谷の鶯（ひわ）色を薄めて彩色しています。

中田雅巳氏の「SEN 茶碗」は玉作り成形の茶碗です。白い生地の上に黒い化粧土を塗り針で線を丁寧に掻き落とした後、トルコブルーの釉薬を掛けています。

福永幾夫氏の「青手細密龍鳳凰図茶碗」は、格調高い文様と精緻な上絵付が魅力的です。青海波模様の中に、四霊の長である龍と、同じく四霊の瑞鳥である鳳凰が描かれています。

見附正康氏はいま最も人気のある陶芸家です。「赤絵細描小紋陶箱」は、赤い極細の線文が織りなす小紋の図柄に九谷の和絵具の青と金彩を加えて、独自の世界を構築しています。

南 繁正氏の「組鉢蓮葉」は五枚組の鉢です。南グリーンと呼ばれる淡い緑は、アフリカ産の孔雀石（マラカイト）を粉砕し調合したものです。

牟田陽日さんは、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジで現代アートを学んだ後、色絵に魅せられて九谷焼の陶芸家になりました。この「龍」蓋物は、波間から上昇する青龍をダイナミックに表現しています。

谷敷正人氏の「獅子頭香合（コロナ祓い）」は、16世紀初頭、伊勢国で飢饉や疫病除けに獅子頭が作られたことに由来します。香合の蓋を開けると、中には宝珠が描かれています。

吉田幸央氏の「金襴手彩色花器」は、何層にも上絵を塗り重ねて生み出されたもので、最後に金泥や金箔を施し、モダンな意匠を表現しています。

今回より、武腰 潤氏、中田一於氏、福島武山氏の三名は、顧問として作品を出品されます。

森 孝一（美術評論家・日本陶磁協会常任理事）

本展覧会について

会 期 令和2年10月12日(月)～18日(日) 会期中無休

開 廊 時 間 11:00～19:00

※ 最終日の10月18日(日)は17:00まで

出 品 作 家 齋藤まゆ（10月12日～13日）
(在廊予定日) 佐藤 亮

武腰 潤

田島正仁

田畑奈央人（未定）

中田一於

中田雅巳（10月15日～16日）

福永幾夫（10月15日～16日）

見附正康（10月15日～16日）

南 繁正（10月15日～16日）

福島武山

牟田陽日（10月15日）

谷敷正人（10月12日～18日）

吉田幸央（10月15日～16日）

※ コロナ禍の影響で、変更になる可能性があります。

会 場

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル地下2階

TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335

MAIL gallery@kakiden.com

http://www.kakiden.com/gallery



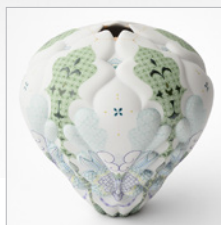
柿傳ギャラリー HP



公式 Instagram



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式 SNS にて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



齋藤まゆ

Saito Mayu

平成 5 年 東京家政大学 卒業
平成 11 年 石川県九谷焼技術研究所 卒業
平成 20 年 金沢卯辰山工芸工房陶芸工房 修了
平成 25 年 第 54 回 石川の伝統工芸展 入選
金沢西病院 陶壁制作

平成 27 年 第 10 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)

平成 30 年 第 74 回 金沢市工芸展 金沢市工芸協会会長奨励賞

令和 元 年 金沢マラソン 2019 男子部門入賞トロフィー制作

パブリック・コレクション 金沢卯辰山工芸工房、金沢西病院、茨城県陶芸美術館、パラミタ陶芸美術館

天空
φ18.2×H18.8 cm



佐藤 亮

Sato Ryo

昭和 21 年 新潟市生まれ
昭和 45 年 早稲田大学卒業
昭和 55 年 日本伝統工芸展 初入選
昭和 59 年 日本工芸会正会員となる
東京銀座和光本館ホール・大阪うめだ阪急本店
福岡岩田屋三越等で個展多数

色絵六稜花器「霜月夜」
W15.8×D17.3×H17.2 cm



田島正仁

Tajima Shoni

昭和23年 石川県小松市生まれ
昭和53年 中日国際陶芸展 外務大臣賞
平成3年 '91金沢工芸大賞 コンペティション優秀賞
平成18年 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞
平成22年 伝統九谷焼工芸展 優秀賞（平成23年、24年、25年、27年）
平成28年 日本伝統工芸展 朝日新聞社賞
平成29年 伝統九谷焼工芸展 大賞、日本陶芸展 準大賞・日本陶芸展賞、第7回 菊池ビエンナーレ 奨励賞
宮内庁買い上げ
日本伝統工芸展 鑑査委員
令和元年 第25回 日本陶芸展 準大賞・日本陶芸展賞

石川県陶芸協会 常任理事
石川県指定無形文化財保持団体九谷焼技術保存会 会員
日本工芸会 正会員

彩釉花器
φ16.3×H30.2 cm



田畑奈央人

Tabata Naoto

昭和44年 三重県生まれ
平成4年 明治大学法学部卒業
平成16年 武腰潤先生に師事
平成17年 石川の伝統工芸展 入選
伝統九谷焼展 入選
平成23年 伝統九谷焼展 技術賞
平成29年 日本陶磁協会 奨励賞展 奨励賞

ヤモリの徳利
W10.0×D11.8×H22.5 cm

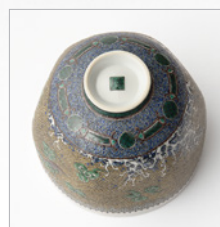


中田雅巳

Nakada Masaru

昭和52年 石川県生まれ
平成9年 石川県立九谷焼技術研修所 基礎コース 卒業
平成18年 益子陶芸展 入選、出石磁器トリエンナーレ 入選
平成19年 京畿道世界陶磁ビエンナーレ（韓国）入選、金沢市工芸展 金沢市長最優秀賞
平成23年 菊池ビエンナーレ 入選（同25年）、日本陶芸展 入選（同25年 賞候補）
現代美術展 北國賞（同26年）、長三賞常滑陶芸展 入選（同25年）
平成26年 Meister der Moderne 展 バイエルン州賞（ドイツ）
平成29年 菊池ビエンナーレ 奨励賞、日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞展 奨励賞

SEN 茶碗
φ10.5×H7.0 cm



福永幾夫

Fukunaga Ikuo

昭和36年生まれ
金城短大陶芸部 卒業
平成21年 第12回 日本伝統工芸士会作品展 京都府知事賞
平成23年 日本伝統工芸士会 功労者表彰
全国伝統の工芸品公募展 経済産業省商務情報政策局長賞
平成26年 中部経済産業局長表彰 功労賞
平成27年 創造美術展 文部科学大臣賞
平成30年 北陸創造展 北国新聞社長賞
通産大臣認定 九谷焼伝統工芸士、創造美術会 北陸支部陶芸部 部長

青手細密龍鳳凰図茶碗
W9.5×D11.3×H11.3 cm



見附正康

Mitsuke Masayasu

昭和50年 石川県加賀市生まれ
 平成9年 福島武山氏に師事（平成19年独立）
 平成24年 「工芸未来派」（金沢21世紀美術館）
 平成26年 第9回 パラミタ陶芸大賞展 大賞（パラミタミュージアム）
 「Logical Emotion—日本現代美術展—」（スイス、ポーランド、ドイツ巡回）
 平成27年 「japanese kogei FUTURE FORWARD」（アメリカ）
 平成28年 2015年度 石川デザイン賞
 平成30年 「やきものを分析する—装飾編」（兵庫陶芸美術館）
 令和元年 第39回 伝統文化ポーラ賞 奨励賞
 令和2年 「無形にふれる」（ポーラミュージアムアネックス）
 「令和時代の超工芸 和巧絶佳」（パナソニック汐留美術館）

赤絵細描 小紋陶箱
 W6.0×D6.0×H4.0 cm

抽選
販売

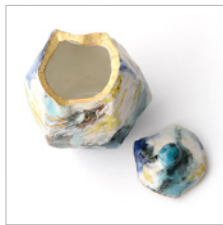


南 繁正

Minami Shigemasa

昭和25年 石川県能美郡寺井町湯谷生まれ
 昭和46年 日本硬質陶器株式会社 図案室勤務（～昭和57年）
 昭和55年 日本伝統工芸展 初入選
 昭和57年 （財）寺井町九谷焼資料館勤務（～平成3年）
 昭和61年 日本工芸会正会員に認定される
 平成4年 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞
 平成11年 やきもの探訪（NHK-BS2）—四季を奏でる緑の調べ—
 平成22年 石川県指定無形文化財保持団体 九谷焼技術保存会会員に認定される
 令和元年 第60回記念 石川の伝統工芸展 大賞
 令和2年 第7回 日本陶芸美術協会展 十四代 柿右衛門記念賞

組鉢 蓮葉（5枚組）
 W22.0×D22.0×H6.3 cm



牟田陽日

Muta Yoca

- 平成20年 ロンドン大学 ゴールドスミスカレッジ ファインアート科 卒業
個展『A Tale of Two Suns』(Iniva、ロンドン)
- 平成24年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業
IKEYAN★オーディション グランプリ
伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」優秀賞
- 平成26年 「牟田陽日展」日本橋三越本館6階 美術サロン
- 平成28年 アートフェア東京KOGEI@kassi ~ selected by MITSUKOSHI 東京
第11回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)

「龍」蓋物
W7.3×D6.7×H9.4 cm

抽選
販売



谷敷正人

Yashiki Masato

- 昭和30年 石川県小松市生まれ
- 昭和50年 文化勲章陶芸家 二代 浅蔵五十吉先生に師事、10年後独立
- 昭和59年 石川県九谷焼技術研修所 実務者コース 卒業
- 平成14年 石川県庁議会庁舎 エントランスホール陶板 制作
- 平成22年 日本伝統工芸展 初入選
- 平成24年 能美市美術展 審査委員
- 平成25年 武腰 潤先生主宰の潤青舎設立に参加、同人となる
- 平成26年 北陸新幹線開業記念の陶板制作
- 平成30年 九谷上絵協同組合 理事長に就任
- 令和元年 陶美展 初入選
- 日本工芸会 正会員、川端康成学会 会員

獅子頭香合 (コロナ被い)
W6.0×D9.7×H7.0 cm

吉田幸央

Yoshita Yukio

昭和 35 年 石川県小松市生まれ
昭和 57 年 金沢美術工芸大学卒業
平成 4 年 伝統九谷焼工芸展 大賞
平成 6 年 高岡クラフト展 金賞
平成 11 年 陶芸ビエンナーレ'99 特別賞
平成 12 年 現代茶陶展 TOKI 織部 銀賞
平成 21 年 伝統九谷焼陶芸展 大賞
平成 22 年 日本伝統工芸展 高松宮記念賞
平成 26 年 第 19 回 MOA 岡田茂吉賞展（熱海市 MOA 美術館）

金襴手彩色花器
φ10.0×H29.5 cm

価格表

	作家名	作品名	本体価格/円 (税込価格/円)	作品サイズ (cm)
1	齋藤まゆ	天空	380,000 (418,000)	φ 182×H188
2	佐藤 亮	色絵六稜花器「霜月夜」	170,000 (187,000)	W158×D17.3×H17.2
3	田島正仁	彩釉花器	380,000 (418,000)	φ 16.3×H30.2
4	田畑奈央人	ヤモリの徳利	50,000 (55,000)	W100×D11.8×H22.5
5	中田雅巳	SEN 茶碗	90,000 (99,000)	φ 10.5×H7.0
6	福永幾夫	青手細密龍鳳凰図茶碗	350,000 (385,000)	W9.5×D11.3×H11.3
7	見附正康	赤絵細描 小紋陶箱	抽選販売 110,000 (121,000)	W6.0×D6.0×H4.0
8	南 繁正	組鉢 蓮葉 (5 枚組)	225,000 (247,500)	W22.0×D22.0×H6.3 (1 枚あたり)
9	牟田陽日	「龍」蓋物	抽選販売 100,000 (110,000)	W7.3×D6.7×H9.4
10	谷敷正人	獅子頭香合 (コロナ祓い)	80,000 (88,000)	W6.0×D9.7×H7.0
11	吉田幸央	金襴手彩色花器	200,000 (220,000)	φ 10.0×H29.5

見附正康 & 牟田陽日作品の販売方法につきまして

本展における、見附正康作品と牟田陽日作品につきましては、誠に勝手ながら、抽選による販売とさせていただきます。どうかご理解を頂ければ幸いに存じます。具体的な抽選の販売方法は、以下の概略をご覧ください。詳細は、お手数ですが、弊廊 HP もご覧頂ければと存じます。

- 1 **ご応募受付期間** 10 月 12 日 (月) 11:00～10 月 13 日 (火) 18:00
- 2 **ご応募方法**
 - ・柿傳ギャラリー店頭と、弊廊宛のメールにて応募を受け付けます。
 - ・申し訳ございませんが、電話、手紙、FAX での受付は致しかねます。
 - ・一人の作家につき、恐れながら、お一人様 1 点限りのご応募とさせていただきます。
 - ・**【ご来店の場合】** 店頭で配布する応募用紙にご記入の上、店頭でお申し込み下さい。
 - ・**【メールの場合】** メールでのご応募は、[お名前、フリガナ、ご住所、携帯電話番号、固定電話番号、ご希望作品 No. と作品名(※)] を明記の上、弊廊宛にメール (gallery@kakiden.com) をお送り下さい。 ※10 月 11 日 (日) には、弊廊 HP の展覧会情報ページにて、お二人のすべての作品をアップ致しますので、その作品 No. と作品名をご記入下さい。
 - ・恐れ入りますが、ご応募とご当選のキャンセルはお受けしかねます。ご了承の上、お申し込み頂ければ幸いです。
- 3 **公開抽選会** 10 月 15 日 (木) 13:00～柿傳ギャラリー（ご出席頂く必要はございません）
- 4 **抽選結果発表**
 - ・ご当選された方のみ、公開抽選会当日の 10 月 15 日 (木) 14:00～10 月 16 日 (金) 12:00 までの間に弊廊 (03-3352-5118) からお電話にてご連絡をさせていただきます。
 - ・ご当選された方に、10 月 16 日 (金) 12:00 までご連絡がつかない場合は、恐れながら、ご当選の権利が無くなるものとさせていただきます。

160-
0022

東京都新宿区新宿 3-37-11

カクヤナリ
KAKUYANARI